WISC-Ⅳ検査報告書　解釈シート（　　　　　　）

|  |  |
| --- | --- |
| 主訴 |  |

〇**全検査ＩＱの解釈**

・ＦＳＩＱは代表値として解釈可能かどうか？

・指標得点の最大値と最小値の差は？

　　　　　　　　　－　　　　　＝

1.5ＳＤ未満（22点以下）→　解釈可能

1.5ＳＤ以上（23点以上）→「数値の解釈は慎重に行う」

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　指標得点ごとに水準を解釈

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　→　下位検査の評価へ

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　※この先は検査者の行う解釈へ

**【総合所見】ＦＳＩＱ**

〇**検査結果から読み取れる認知面の特徴**

　□各指標得点の水準の検討（高低判断）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 高低判断 | 主訴の背景要因，支援に活かせる力 |
| ＶＣＩ |  |  |
| ＰＲＩ |  |  |
| ＷＭＩ　 |  |  |
| ＰＳＩ |  |  |

　□指標得点間の差（ディスクレパンシー比較）

それぞれ1.5ＳＤ（23点以上）の差があれば，稀な差があると言える。

ＶＣＩ－ＰＲＩ 　　　 －　　　　＝

ＶＣＩ－ＷＭＩ　　　　 －　　　　＝

ＶＣＩ－ＰＳＩ　　　　 －　　　　＝

ＰＲＩ－ＷＭＩ　　　　－　 　　　＝

ＰＲＩ－ＰＳＩ　　　　 －　　　　＝

ＷＭＩ－ＰＳＩ　　　　 －　　　　＝

**〇指導の基本方針**

認知面，処理プロセス等の特徴の表記から，読み取れる本人の補いたい弱さ，活かしたい強さを考える

言語理解の（強さ・弱さ）に対して　　※強さ・弱さのいずれかに○

　知覚推理の（強さ・弱さ）に対して

ワーキングメモリーの（強さ・弱さ）に対して

　処理速度の（強さ・弱さ）に対して

　主訴（　　　　　　　　　　　　　　　　　）に関して